



米国株 MARKET PICK UP



先週の米国株式市場—企業決算への懸念などから続落—

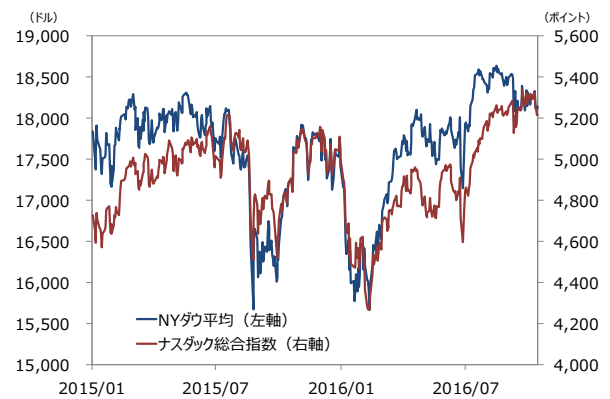
	前週終値	10月10日	10月11日	10月12日	10月13日	10月14日	週間騰落幅	週間騰落率
ダウ平均	18,240.49	18,329.04	18,128.66	18,144.20	18,098.94	18,138.38	-102.11	-0.56%
騰落幅		+88.55	-200.38	+15.54	-45.26	+39.44		
S&P500	2,153.74	2,163.66	2,136.73	2,139.18	2,132.55	2,132.98	-20.76	-0.96%
騰落幅		+9.92	-26.93	+2.45	-6.63	+0.43		
ナスダック総合指数	5,292.41	5,328.67	5,246.79	5,239.02	5,213.33	5,214.16	-78.24	-1.48%
騰落幅		+36.27	-81.89	-7.77	-25.69	+0.83		

<先週の概況>

先週の米国市場でダウ平均は週間で102ドル安と続落しました。上昇して始まったダウ平均ですが、アルコア（AA）など一部の企業決算が不調に終わったことから決算への懸念が高まって11日にダウ平均は200ドル安となり、その後も値を戻しきれませんでした。

また、ハイテク株比率の高いナスダック総合指数は、週間で1.5%安とダウ平均の0.6%安に比べて大きな下落率となりました。

NYダウ平均とナスダック総合指数の推移



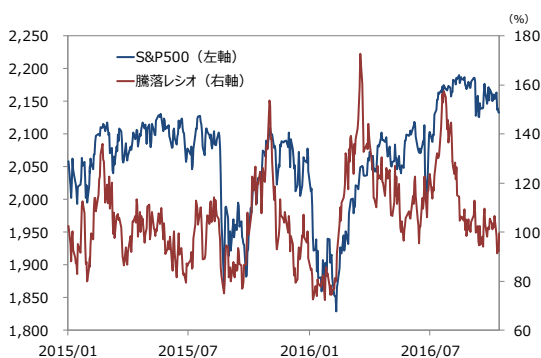
(出所) Bloombergのデータをもとにマネックス証券作成

米国株式市場バリュエーション

指数	予想PER (倍)	PBR (倍)	予想配当利回り
ダウ平均	16.9	3.1	2.7%
S&P500	18.1	2.8	2.2%
ナスダック総合指数	21.9	3.6	1.3%

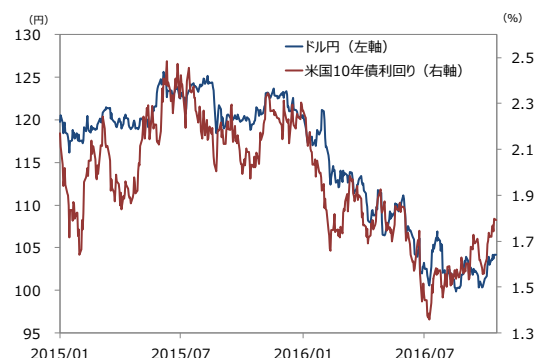
(出所) Bloombergのデータをもとにマネックス証券作成 (2016年10月17日時点)

S&P500と騰落レシオの推移



(出所) Bloombergのデータをもとにマネックス証券作成

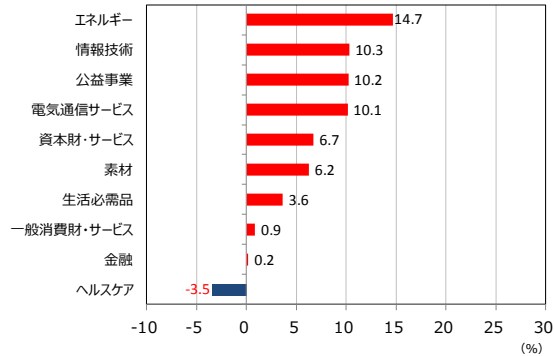
ドル円と米国長期金利の推移



(出所) Bloombergのデータをもとにマネックス証券作成

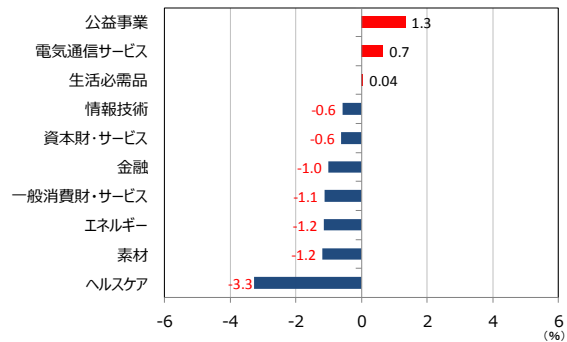
業種別リターン

S&P500 業種別年初来リターン



(出所) Bloombergのデータをもとにマネックス証券作成

S&P500 業種別週間リターン



(出所) Bloombergのデータをもとにマネックス証券作成

ダウ平均採用銘柄 週間騰落率ランキング

値上がり率ランキング (10/10-10/14)

ティッカー	銘柄名	週間騰落率 (%)
AAPL	アップル	3.1
DD	イー・アイ・デュポン・ドゥ・ヌーヴル	1.0
VZ	ベライゾン・コミュニケーションズ	0.7
MCD	マクドナルド	0.6
TRV	トラベラーズ・カンパニー	0.5
GS	ゴールドマン・サックス・グループ	0.4

(出所) Bloombergのデータをもとにマネックス証券作成

値下がり率ランキング (10/10-10/14)

ティッカー	銘柄名	週間騰落率 (%)
CSCO	シスコシステムズ	-4.1
PFE	ファイザー	-2.7
AXP	アメリカン・エキスプレス	-2.6
UNH	ユナイテッド・ヘルスグループ	-2.0
PG	プロクター・アンド・ギャンブル	-1.7
INTC	インテル	-1.7
HD	ホーム・デポ	-1.5
JNJ	ジョンソン・エンド・ジョンソン	-1.4
DIS	ウォルト・ディズニー	-1.3
CVX	シェvron	-1.2

(出所) Bloombergのデータをもとにマネックス証券作成

<上昇>

韓国サムスン社製のスマートフォンから発火現象が起き生産・販売停止となったことで、競合である iPhone の販売の追い風になるとして、アップル (AAPL) が買われて週間で 3% 超上昇しました。その他にもデュポン (DD) やベライゾン・コミュニケーションズ (VZ)、マクドナルド (MCD) などがそれぞれ上昇しました。

<下落>

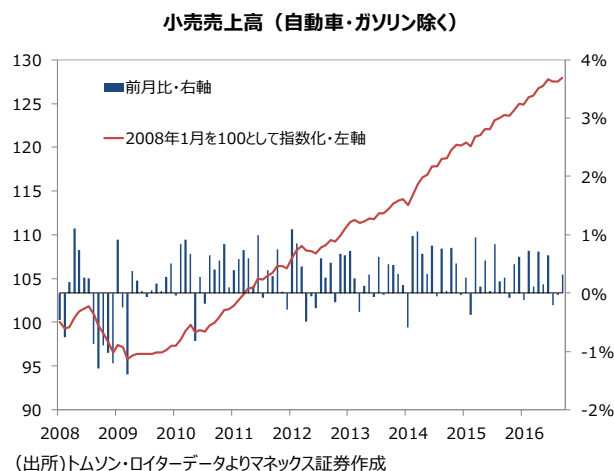
シスコシステムズ (CSCO) が週間で 4% 超下げたほか、ファイザー (PFE)、アメリカン・エキスプレス (AXP)、ユナイテッド・ヘルスグループ (UNH) の 3 社が 2% 以上下落しました。

先週発表された主な経済指標

小売売上高（自動車・ガソリン除く、前月比） 9月 +0.3% 市場予想 +0.3% 前月 -0.1%

14日に発表された小売売上高は、変動の大きい自動車とガソリンを除いた売上高が前月比0.3%増と市場予想と一致しました。

同売上高は7月分・8月分と2ヶ月連続で前月から減少しており、個人消費が低迷しているのではないかと懸念につながっていましたが、ひとまずその不安は後退する堅調な内容だったと言えるでしょう。

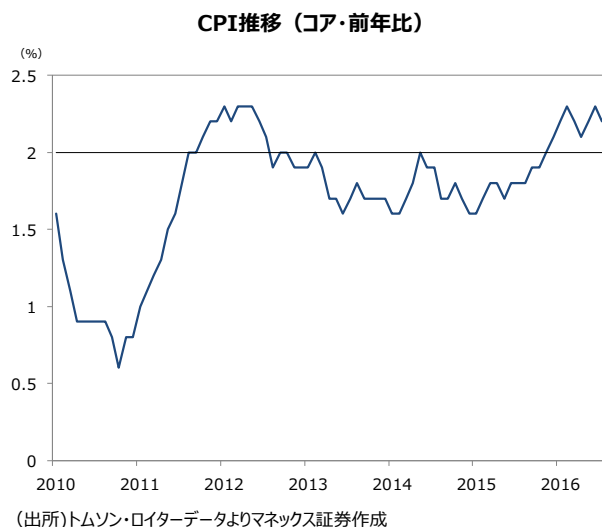


今後発表される主な経済指標

9月 消費者物価指数（CPI コア指数） 前年同月比 市場予想 +2.3% 前月 +2.3%

18日に9月の消費者物価指数（CPI）が発表されます。変動の大きい食品とエネルギーを除いたコア指数は、前年同月比2.3%の上昇と前月から横ばいになると予想されています。

FRBは物価の安定と雇用の最大化という2つの法的責務（デュアルマンド）をおっていますが、好調な労働市場に加えて物価上昇率も上振れすれば、一層利上げ期待が高まり円安ドル高圧力となる可能性があります。



マーケットビューー企業決算が材料にー

米企業の決算発表が本格化しつつあります。先週発表されたアルコアの決算が市場予想を下回ったことで米国株全体に売りが波及するなど、しばらくの間は企業決算が材料となりそうです。

14日時点のトムソン・ロイターの集計では、7-9月期は前年同期比0.3%の減益になると予想されています。今週は、バンク・オブ・アメリカ(BAC)、IBM(IBM)、ネットフリックス(NFLX)、ゴールドマン・サックス(GS)、インテル(INTC)、ジョンソン・エンド・ジョンソン(JNJ)、アメリカン・エキスプレス(AXP)、マイクロソフト(MSFT)、ベライゾン・コミュニケーションズ(VZ)、マクドナルド(MCD)などが決算発表を予定しています。企業決算発表スケジュールの詳細は[こちら](#)をご参照ください。

フィナンシャル・インテリジェンス部 益嶋 裕

当社は、本書の内容につき、その正確性や完全性について意見を表明し、また保証するものではありません。記載した情報、予想及び判断は有価証券の購入、売却、デリバティブ取引、その他の取引を推奨し、勧誘するものではありません。過去の実績や予想・意見は、将来の結果を保証するものではありません。提供する情報等は作成時現在のものであり、今後予告なしに変更又は削除されることがございます。当社は本書の内容に依拠してお客様が取った行動の結果に対し責任を負うものではありません。投資にかかる最終決定は、お客様ご自身の判断と責任でなさるようお願いいたします。本書の内容に関する一切の権利は当社にありますので、当社の事前の書面による了解なしに転用・複製・配布することはできません。内容に関するご質問・ご照会等にはお応え致しかねますので、あらかじめご容赦ください。

マネックス証券株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第165号
 加入協会: 日本証券業協会、一般社団法人 金融先物取引業協会、一般社団法人日本投資顧問業協会